

島根県教育センター 特別支援教育に関する研修について

島根県教育センター教育相談スタッフ特別支援教育セクション

①特別支援学級担任、通級指導教室担当が受講する研修

島根県教育センターでは、特別支援学級等での職務経験年数に応じて以下の3つの悉皆研修を行っています。

十分ご確認の上、申請してください。対象かどうか判断できかねる場合は、記載の担当部署までお問い合わせください。

【858】

小・中学校特別支援学級、
通級指導教室新任担当教員研修

受講対象

★初めて特別支援学級を担当または通級指導
教室を担当する小・中学校及び義務教育学校
の教員（*次の者を含む。

- ・通級指導教室の担当経験はあるが、初めて特別支援学級を担当する者。
- ・特別支援学級の担任経験はあるが初めて通級指導教室を担当する者。
- ・過去に特別支援学校の勤務経験があり、初めて特別支援学級又は通級指導教室を担当する者のうち希望する者)

教育センター研修回数

年間3回（うち、第2回目は希望者のみ）

特別支援学級や通級指導教室の学級経営
や教室経営、授業づくりについての基本的
な事項について学びます。

グループでの協議等を通して、他校の実
践や状況等の情報共有も行います。

【1094】

特別支援学級担任3年目研修

受講対象

★小・中学校及び義務教育学校の特別
支援学級担任のうち、令和4年度末
までに特別支援学級担任を通算で2
年以上3年未満経験した者（*講師の経
験を含む）

教育センター研修回数

年間1回

特別支援学級の魅力を活かした学級経
営や授業づくりについて学びます。

受講者それぞれで実践を持ち寄り紹介
しあうことで、授業力の幅を広げます。

【1173】

特別支援学級担任スキルアップ研修
（1年次～2年次）

受講対象

★小・中学校及び義務教育学校の特別支援学
級担任のうち、令和4年度末時点で、特別支
援学級担任を通算で4～6年間経験した者
★平成28年度までの中学校特別支援教育担当採
用者かつ令和5年度特別支援学級担任であるも
ので、本研修を受講していない者

教育センター研修回数

年間3回

2年間の研修です。（R5は1年次）

講義や授業研究を通して、特別支援教
育に関する専門性を身に付けます。

また、個々でテーマを設定し課題研究
に取り組むことで、授業づくり等につい
ての理解を深めていきます。

②新任特別支援教育コーディネーターが受講する研修

【919】 新任特別支援教育コーディネーター研修

受講対象

★特別支援教育コーディネーターに初めて指名された小・中学校及び義務教育学校、高等学校の教員（各校1名まで）

（*本校、分校、定時制、通信制過程それぞれから対象教員が参加。私立中学校・高等学校はそれぞれから対象教員が参加。上記に加え、希望する特別支援教育コーディネーター（各校1名。新任がいる学校は新任のみ）

教育センター研修回数

年間2回（うち、第2回目は希望者のみ）

特別支援教育コーディネーターの役割や特別な支援が必要な子どもの理解と対応について、講義や実践発表等を通して学びます。

③能力開発研修（各学校の希望者が受講する研修です）

【1143】

特別支援学級、特別支援学校における授業づくり講座

受講対象

★小・中学校、義務教育学校、特別支援学校の教職員

R5の研修内容

講師：長野県長野養護学校教諭、国立特別支援教育総合研究所特任研究員 青木 高光 氏
佐賀市立小中一貫校松梅校 教諭 木田 啓二 氏

～「できること」からはじめよう！

知的障がいのある子どもの主体的な学びのためのICT活用～

【1215】

特別支援教育専門講座

受講対象

★小・中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員

R5の研修内容

講師：広島大学大学院 准教授 氏間 和仁 氏

～Let's support! 通常の学級に在籍する子どもたちのために
子どもの実態から考えるICT活用～

【1299】

すべての教職員に役立つ！
支援につながる子どもの理解講座

受講対象

★小・中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員


R5の研修内容


講師：東京都杉並区立済美教育センター 指導教授 月森 久江 氏

～子どもの願いに寄り添うための教師の基本姿勢～

通常の学級等における特別な支援を必要とする子ども一人一人の願いに寄り添ったかわりや支援について

<お問い合わせ先>：島根県教育センター教育相談スタッフ特別支援教育セクション 0852-22-5870
島根県教育センター浜田教育センター教育相談スタッフ 0855-23-6782

児童生徒名	A	B	C	D
指導目標 (長期目標)	<p>★「自立活動シート」「個別の指導計画」「年間指導計画」などを参考に記入しましょう。</p> <p>※「自立活動シート」は、島根県教育センターホームページ⇒学校・教職員支援⇒特別支援教育のページでダウンロードできます。</p> <p>「自立活動シート」を参考にした場合は、「1.実態把握」「2.指導目標の設定」「4.具体的な指導内容」の項目を確認しましょう。「自立活動シート」の内容と現在の児童生徒の状況を踏まえて記入していきましょう。</p>		<p>「個別で指導する場合」「集団で指導する場合」があります。学級の実態に合わせてお使いください。</p> 	
指導内容				
学習や生活の中で見られる長所やよさ興味・関心				

児童生徒名	<p>★「指導内容」と「学習や生活の中で見られる長所やよさ、興味・関心」を基にして「単元の指導目標」「主な活動内容」を考えます。</p> <p>この時にいろいろと考えたアイデアを書いて残しておく、今後の単元で使えるネタになるかもしれません。決定した活動内容に○をします。</p> 
単元の指導目標	
単元名	
主な活動内容	

★単元の指導目標に合わせて活動内容を考えましょう。


例) 目標:自分の気持ちや要求を相手に伝える。
達成するために必要な項目:【人間関係の形成】【コミュニケーション】
考えられる活動内容:
○相手と協力するゲーム(相手意識をもって活動する)
○大好きな先生を招待して遊ぶ
(相手に気持ちや要求を伝えたいくなるような機会をつくる、やりとりの楽しさを味わう)
○絵カードや身振りを使ってやりとりを行う
(コミュニケーション手段を身につけたり広げたりする)

参考資料)「自立活動の内容整理表」(島根県教育センター特別支援教育セクション作成資料)
障がいや障がいの状態を踏まえて具体例が例示しているが、学習上又は生活上の困難が似ている場合には、指導内容例が参考にできます。

★自立活動の具体的な指導内容を考える際の配慮事項です。指導内容を考える際に学年に合わせて次の点を意識しましょう。


ア 主体的に取り組む	イ 改善・克服の意欲を喚起	ウ 発達の進んでいる側面を更に伸ばす
エ 自ら環境と関わり合う(幼稚部のみ)	オ 自ら環境を整える	カ 自己選択・自己決定を促す
キ 自立活動を学ぶことの意義について考えさせる		

自立活動の配慮事項についての詳しい説明は、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)』の111~118ページに掲載されています。詳しくはそちらをご覧ください。




Go!Go!授業づくり!シート

自立活動用 記入のポイント

児童生徒名	A	B	C	D
単元の指導目標	<p>★単元の指導目標欄には、単元の指導目標を抜き出します。 在籍人数に応じて、記入枠を作ってください。</p> 			
手立て(単元を通して)				

日時	活動内容	A	B	C	D	準備物	
		手立て	<p>★「手立て」には、単元を通してと同じ手立てであれば記入はしません。 この時間の手立てがあれば、記入をします。</p>				
		記録					
		手立て					
		記録					
		手立て					
		記録					
		手立て					
		記録					

児童生徒の評価	児童生徒名	評価		
	A	<p>★児童生徒の評価には、「単元の指導目標ができたか。」だけでなく、「児童がどのような点でつまずきがあったのか」「指導目標に向かって努力したことや努力しようとした態度」を記録します。</p> 		
	B			
	C			
	D			
指導に対する評価	評価の視点	①活動内容 ④教具	②活動量 ⑤活動の場の配置	③活動の流れ ⑥指導目標の妥当性
	<p>★6つの評価の視点からこの単元を振り返り、指導の改善を行います。</p> <p>「活動内容、活動量、活動の流れ、教具、活動の場の配置」が適切だったか、「目標の妥当性」は、単元の指導目標が児童の実態に合っていたかについて、振り返ります。気がついた視点について振り返りを行いましょう。</p> 